

水環境の課題に興味がある人必見!!!

参加費無料

びわ湖 水環境フォーラム 2026 in Moriyama

7.25 土

14:00-17:00

14:00-15:25 フォーラム

15:35-17:00 ポスターセッション

こんな方におすすめ!

- ✓ 水について知りたい!
- ✓ 琵琶湖について興味がある!
- ✓ 琵琶湖について語りたい!

立命館守山中学高等学校

お申込み方法

二次元コードまたは、WEBサイトからお願いします。

URL <https://yamaoka-memorial.or.jp/event/2026/0725-01.html>

※申し込み期限2026年7月23日(木) 11:00A.M.まで

定員数: 150人



主催・共催・後援

主催：一般財団法人山岡記念財団

共催：立命館守山中学校・高等学校

後援：滋賀県、守山市、守山市教育委員会、MLGS、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館
ヤンマーホールディングス株式会社

フォーラム(登壇者・内容)

琵琶湖保全の取組について

間野 智也

滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課 主査

滋賀県は1970年代の「石けん運動」を始めとして、自治と連携の精神で琵琶湖を守り続けています。近年は水草や外来魚の対策に加え、琵琶湖版SDGs「マザーレイクゴールズ(MLGs)」を策定し、湖沼保全を世界に発信しています。

藻と人が共存する未来

野村 愛、平沼 心結、福富 さら

立命館守山高等学校

「藻と人が共存する未来」をテーマに、藻類が生態系および人間社会に与える影響について考察する。藻類がもたらす課題と価値の両面に着目し、堆肥などへの活用事例も踏まえながら、人と藻との共存の在り方について探究したことを発表します。

PFASによる環境への影響について

ピーター・グラートヴォール教授

チュービンゲン大学教授 理学部 土壌環境センター
(ドイツ連邦共和国・バーデン=ヴュルテンベルク州)

PFAS(有機フッ素化合物)は水や油を弾く便利な性質の一方で、自然界では分解されにくく、生態系や人体への影響が懸念されています。本講演では欧州の事例を交え、今後の規制動向と対策を判りやすく解説します。

ドイツのソーセージ
やバウムクーヘンも
食べれるか
も!!!!!!

ポスターセッション

企業を含む各団体が、取り組みをポスターで紹介します。

ポスターブースを自由に回って、社会人の担当者とも交流ができます。

探究テーマや部活・ボランティア、進路のヒントに出会えるチャンスです!

(出展ブース一覧: 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター、株式会社堀場アドバンスドテクノ、ヤンマーホールディングス株式会社 他)

休憩時にはドイツの食べ物の提供も行います!



山岡記念財団について

ヤンマー創業者である山岡孫吉は、ドイツのルドルフ・ディーゼル博士が発明したディーゼルエンジンの小型実用化に成功し、世界中にディーゼルエンジンを普及させました。そのため、ヤンマーグループは、創業以来、ドイツの技術・文化への感謝の気持ちを継承し続けています。この感謝の念にもとづき、山岡記念財団は、日本およびドイツ両国の文化交流を通し、次世代を担う若者の育成に寄与するとともに、社会の持続的な発展に貢献することを目的としています。

アクセス情報

〒524-8577 滋賀県守山市三宅町250番地 立命館守山中学校・高等学校

JR守山駅西口より近江鉄道バス

「立命館守山線」「市民ホール線」「杉江循環線」にご乗車いただき「立命館守山・高校前」にて下車ください。

